

## インターフェースデザインチェックリスト

チェック項目	はい	いいえ	改善要
明瞭性	ページはわかりやすいタイトル、見出しで明瞭に識別されているか		
	重要な情報は、配置場所や強調を工夫し、わかりやすく表示されているか		
	情報は論理的に整理されているか(ページや項目の提示順序など)		
	異なるタイプの情報は、互いに明確に区別されているか(ページ自身の説明、リスト、引用、索引など)		
	ページ上の各項目は、きちんと整列して表示されているか(文字揃え、リストの構成など)		
	表示を明瞭にする色の使い方がされているか		
	色を使う場合、白黒ディスプレイを利用、あるいは印刷されたとしても、表示内容は読みやすいか		
	見出し、段落分け、改行などを使い、ページ上の情報が見やすく配置されているか		
	表、画像などの表示はわかりやすいか		
	リンク、メニューなど選択肢が示された時、各選択肢の意味は明瞭か		
一貫性	リンク先が何か明瞭か		
	サイト全体を通して、字体、色の使い方は一貫しているか(リンクや強調などの字体や色はどのページも同じか)		
	省略語、用語など文字情報は、サイト全体を通して一貫しているか		
	アイコン、画像などの扱いは、サイト全体を通して一貫しているか		
	指示、メニュー、ナビゲーション、見出しなどの同一種類の情報は統一された形式で提示されているか(同じ位置、同じ形など)		
	同じ種類の情報は、同じ形式で表示されるか		
操作性	ナビゲーションの操作はサイトを通じて、一貫性を保っているか		
	簡単に前のページに戻れるか(直前に表示されたページではなく、内容的に前のページ)		
	どのページにいようと、簡単にトップページに戻れるか		
読者の期待と内容の合致性	必要とされる内容を簡単に見つけるしきみが提供されているか		
	色の使い方は、人間の習慣的連想に準じて用いられているか(たとえば、赤は警告として使うなど)		
	省略語、用語など文字情報が表示される時、読者はそれらを理解できるか		
	アイコン、画像などが表示される時、読者はそれらを理解できるか		
	特殊用語、専門用語が用いられている時、それらは対象とする読者になじみがあるものか		
	日付、電話番号などの情報は、社会一般的な形式で表示されているか		
	対象読者のふるまいや期待の違いを考慮して、情報が提示されているか(専門家か否か、頻繁にアクセスするか否かに合った構成)		
	読者がどのページにいるかが、どの状況においても簡単にわかるか		

チェック上の注意:「いいえ」に○をつけた場合、それを直すつもりなら、「改善要」にも○をつけます。対象要素がなければ、どこにも○をつけません。